

USプレミアム・インカムファンド (年4回決算型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2023年12月14日から2033年11月25日まで
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	・ ハーブ・イシューアー・ピーエルシーが発行する円建債券を主要投資対象とします。 ・ 特別目的会社ハーブ・イシューアー・ピーエルシーが発行する円建パフォーマンス・リンク債券(以下「担保付円建債券」ということがあります。)への投資を通じて、実質的に米国株式プレミアム戦略のパフォーマンスからの安定的なリターンを獲得を目指します。 ・ 米国株式プレミアム戦略は、米国の株価指数であるS & P 500指数(以下「参照指数」ということがあります。)を原資産としたプットオプション(期間は約1 週間、権利行使価格はプットオプション構築時の参照指数値の97%)を売却することで、参照指数の下落による損失を低減しつつプレミアムの獲得を目指す戦略です。 ・ 担保付円建債券の組入比率は、高位とすることを基本とします。 ・ 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
組入制限	・ 担保付円建債券への投資割合には、制限を設けません。 ・ 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・ 投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・ 外貨建資産への直接投資は行いません。 ・ デリバティブ取引の利用は、ヘッジ目的に限定しません。
分配方針	毎決算時(2月、5月、8月、11月の各25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。 分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

運用報告書(全体版)(第3作成期)

第5期(決算日 2025年2月25日)

第6期(決算日 2025年5月26日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「USプレミアム・インカムファンド(年4回決算型)」は、2025年5月26日に第6期決算を行いましたので、第5期から第6期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

作成期	決 算 期	基 準 価 額			債 券 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率			
第 1 作成期	設定日 2023年12月14日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 10
	1 期(2024年 2 月26日)	9,945	0	△ 0.6	94.9	—	10
	2 期(2024年 5 月27日)	9,785	0	△ 1.6	95.5	—	10
第 2 作成期	3 期(2024年 8 月26日)	9,706	0	△ 0.8	96.2	—	10
	4 期(2024年11月25日)	9,668	0	△ 0.4	96.8	—	10
第 3 作成期	5 期(2025年 2 月25日)	9,545	0	△ 1.3	97.4	—	10
	6 期(2025年 5 月26日)	9,495	0	△ 0.5	98.0	—	9

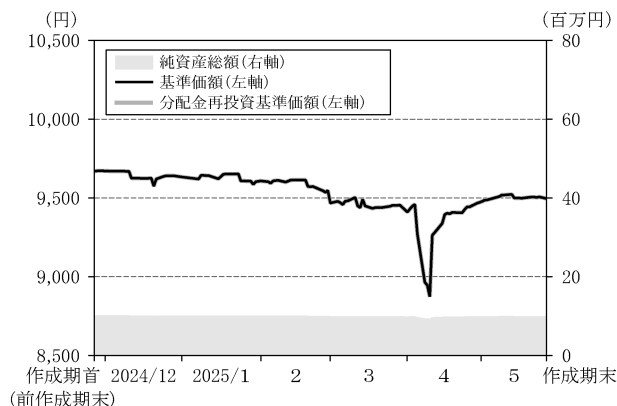
(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

年 月 日		基 準 価 額		債 券 組入比率	債 券 先物比率
			騰落率		
第 5 期	期首(第4期末) 2024年11月25日	円 9,668	% —	% 96.8	% —
	11月末	9,671	0.0	96.7	—
	12月末	9,633	△ 0.4	97.3	—
	2025年 1 月末	9,607	△ 0.6	96.9	—
	期 末 2025年 2 月25日	9,545	△ 1.3	97.4	—
第 6 期	期首(第5期末) 2025年 2 月25日	9,545	—	97.4	—
	2 月末	9,467	△ 0.8	97.3	—
	3 月末	9,410	△ 1.4	97.9	—
	4 月末	9,477	△ 0.7	98.5	—
	期 末 2025年 5 月26日	9,495	△ 0.5	98.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■ 基準価額等の推移



第5期首：9,668円

第6期末：9,495円(既払分配金0円)

騰落率：△1.8%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年11月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている担保付円建債券において、プットオプションの売却によるプレミアムがプラス寄与しましたが、発生したオプション取引の損失に加えて、カストディフィーや信託報酬などのファンドのコストがマイナス寄与し、基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

■ 投資環境

【米国株式市況】

米国株式市場は、作成期初から2025年1月上旬にかけては、F R B(米連邦準備制度理事会)による2024年12月の会合での利下げ観測が支えとなり上昇した後、利下げペース鈍化懸念などから下落しました。1月中旬から2月中旬にかけては、発表された米C P I(消費者物価指数)でコア指数の伸びが鈍化し米長期金利が低下に転じたことや、トランプ米大統領が就任初日に中国を標的にした追加関税発表を見送ったことを背景に上昇した後、同大統領の関税政策を巡り、一進一退の展開が続きました。2月下旬以降、米景気の減速懸念が浮上し、軟化した後、一旦持ち直す局面もありましたが、トランプ米大統領が発表した相互関税が想定以上に厳しい内容となったことや、中国が報復関税を発表したことから、関税の応酬が世界経済の急減速につながるとの警戒感が広がり、4月上旬にかけて、大幅に下落しました。作成期末にかけては、米政権が相互関税の一部を適用猶予すると表明したことや、米中貿易摩擦が緩和に向かうとの観測が広がったことが好感され、上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

作成期を通じて、担保付円建債券を概ね高位に組入れました。担保付円建債券は、実質的に米国株式プレミアム戦略のパフォーマンスからの安定的なリターンの獲得を目指します。米国株式プレミアム戦略は、米国の株価指数であるS & P 500指数(以下「参照指数」ということがあります。))を原資産としたプットオプション(期間は約1週間。権利行使価格はプットオプション構築時の参照指数値の97%)を売却することで、参照指数の下落による損失を低減しつつプレミアムの獲得を目指す戦略です。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金(税込み)は基準価額水準、市況動向等を勘案し、第5期、第6期ともに見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

担保付円建債券を高位に組入れ、実質的に米国株式プレミアム戦略のパフォーマンスからの安定的なリターンの獲得を目指します。

S&P 500[®]はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「S P D J I」)の商品であり、これを利用するライセンスがT & D アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]、S&P 500[®]、US 500[™]、The 500[™]は、Standard & Poor's Financial Services LLC(「S & P」)の登録商標で、Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。これらの商標を利用するライセンスがS P D J Iに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスがT & D アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。USプレミアム・インカムファンド(年4回決算型)は、S P D J I、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P 500[®]のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

1 万口当たりの費用明細 (2024年11月26日から2025年 5 月26日まで)

費用の明細

項目	第5期～第6期		項目の概要
	2024/11/26～2025/ 5 /26		
	金額	比率	
平均基準価額	9,544円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	59円 (26) (31) (2)	0.620% (0.274) (0.329) (0.016)	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用)	259 (259) (1)	2.719 (2.712) (0.006)	(b)その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	318	3.339	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

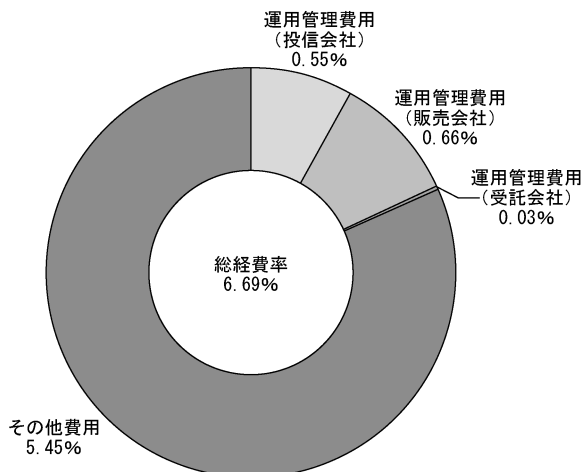
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、6.69%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) ファンドの純資産総額が小さいため、総経費率においてファンドの運営に必要な定額のミニマムコスト(その他費用)の占める比率が大きくなっております。

売買および取引の状況 (2024年11月26日から2025年5月26日まで)

当作成期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2024年11月26日から2025年5月26日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2025年5月26日現在)

公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債<種類別>

区 分	当作成期末(第6期末)						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
普 通 社 債 券	千円	千円	%	%	%	%	%
	10,000	9,769	98.0	98.0	—	98.0	—
	(10,000)	(9,769)	(98.0)	(98.0)	(—)	(98.0)	(—)
合 計	10,000	9,769	98.0	98.0	—	98.0	—
	(10,000)	(9,769)	(98.0)	(98.0)	(—)	(98.0)	(—)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B 格以下には無格付を含みます。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(B) 国内(邦貨建)公社債<銘柄別>

銘 柄	当作成期末(第6期末)			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
(普通社債券)	%	千円	千円	
HARP Issuer US Put Weekly(担保付円建債券)	—	10,000	9,769	2028/12/20
合 計		10,000	9,769	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2025年 5 月26日現在)

項 目	当作成期末(第 6 期末)	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 9,769	% 97.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	231	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	10,000	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	2025年 2 月25日現在	2025年 5 月26日現在
	第 5 期末	第 6 期末
(A) 資 産	10,054,035円	10,000,592円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	285,726	220,486
公 社 債 (評価額)	9,760,000	9,769,000
未 収 利 息	3	2
そ の 他 未 収 収 益	8,306	11,104
(B) 負 債	31,953	30,629
未 払 信 託 報 酬	31,644	30,329
そ の 他 未 払 費 用	309	300
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	10,022,082	9,969,963
元 本	10,500,000	10,500,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 477,918	△ 530,037
(D) 受 益 権 総 口 数	10,500,000口	10,500,000口
1 万口当たり基準価額 (C / D)	9,545円	9,495円

- (注) 当ファンドの第 5 期首元本額は10,500,000円、第 5 ～ 6 期中追加設定元本額は 0 円、第 5 ～ 6 期中一部解約元本額は 0 円です。
- (注) 元本の欠損
第 6 期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は530,037円です。
- (注) 第 6 期末の 1 口当たり純資産額は0.9495円です。

分配金の計算過程

【第 5 期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0 円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0 円) および分配準備積立金 (28,037 円) より、分配対象収益は28,037 円 (1 万口当たり26 円) となりましたが、当計算期間の分配は見送らせていただきました。

【第 6 期】

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0 円)、費用控除後の有価証券売買等損益 (0 円) および分配準備積立金 (28,037 円) より、分配対象収益は28,037 円 (1 万口当たり26 円) となりましたが、当計算期間の分配は見送らせていただきました。

損益の状況

項 目	第 5 期	第 6 期
	自 2024 年 11 月 26 日 自 2025 年 2 月 26 日	自 2025 年 2 月 25 日 自 2025 年 5 月 26 日
(A) 配 当 等 収 益	102,938円	103,004円
受 取 利 息	100,171	100,206
そ の 他 収 益 金	2,767	2,798
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 62,000	9,000
売 買 益	—	9,000
売 買 損	△ 62,000	—
(C) 信 託 報 酬 等	△ 170,283	△ 164,123
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 129,345	△ 52,119
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 348,573	△ 477,918
(F) 合 計 (D + E)	△ 477,918	△ 530,037
(G) 収 益 分 配 金	0	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△ 477,918	△ 530,037
分 配 準 備 積 立 金	28,037	28,037
繰 越 損 益 金	△ 505,955	△ 558,074

- (注) 損益の状況の中で
- (B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。
- (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位: 円・%、1 万口当たり・税引前)

項目	第 5 期	第 6 期
	2024年11月26日 ～2025年 2 月 25 日	2025年 2 月 26 日 ～2025年 5 月 26 日
当期分配金	0	0
(対基準価額比率)	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	26	26

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

《お知らせ》

2025年 4 月 1 日適用で、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、信託約款の変更を行いました